

令和5年度 新津第一中学校教育ビジョン

地域と共によりよい社会を創る新津一中

《教育目標》

【自主】P
先を見通す力

目標 90%達成
(R4 84%)

【責任】D
自分から動く力

目標 90%達成
(R4 95%)

【実践】S
考え解決する力

目標 90%達成
(R4 90%)

【協力】C
コミュニケーション力

目標 90%達成
(R4 89%)

《育成を目指す資質・能力》

《重点目標》

深い学びの実現

記述論述問題で評価B 80%

(R4 69%)

支援的人間関係の育成

学校が楽しい生徒 90%

(R4 84%)

社会に貢献する態度の育成

社会貢献活動に参加した生徒 95%

(R4 74%)

《重点目標達成のための重点的な取り組み》

●授業改革の推進	●支援的人間関係づくりの推進	●探求学習等の充実
<p>【1】「深い学び」を実現する単元デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTの活用による深い問い、学習課題の工夫 思考ツールによる対話、集団思考の深化 <p>授業の話し合いや討論で、自分の考えを深めることができる 目標85% (R4・89%)</p>	<p>【1】自律性と社会性を育む生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事の事前事後指導の充実等による学級経営 協同学習による授業での支援的学級風土づくり <p>清掃や係活動をやり遂げる 目標95% (R4・96%) 自分にはよいところがある 目標80% (R4・74%)</p>	<p>【1】ESD探究学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題解決型キャリア探究学習の実現 深い学びを目指す教科横断的な単元デザイン <p>将来就きたい職業があると答える生徒 目標70% (R4・63%)</p>
<p>【2】振り返りの継続による記述力の伸長</p> <ul style="list-style-type: none"> OUTPUTを重視した指導の工夫 振り返りを継続して書く指導の充実 <p>明確な根拠をもち、筋道を立てて自分の考えを文章表現できる 目標85% (R4・88%)</p>	<p>【2】いじめ・不登校への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ予防・発見・対応システムの機動的運用 考え議論する道徳科の授業の実践 <p>友達の良さを認められる 目標90% (R4・88%) 道徳授業で考え議論する 目標90% (R4・95%)</p>	<p>【2】社会貢献活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ライスプロジェクトによる環境、福祉活動 新津松坂、地域活性化イベント等への参加 <p>今学んでいることが将来に役立つと答える生徒 目標85% (R4・89%)</p>
<p>【3】授業と連動した家庭学習の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業→生活ノート→点検・評価のPDCA 一中ガイドブックを活用した家庭学習向上作戦 <p>家庭学習を基準(1年80分、2年100分、3年120分)以上取り組む 目標50% (R4・23%)</p>	<p>【3】体力・健康づくり、食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業や部活動を通じた健康・安全・保健指導の充実 食育、防災減災、安全教育の計画的な実施 <p>体育の時間が楽しい 目標90% (R4・90%) 朝食は毎日とる 目標95% (R4・95%)</p>	<p>【3】社会を明るくする運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や小学校での挨拶運動の展開 アルミ缶回収活動での地域の方への挨拶運動 <p>地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしている生徒 目標85% (R4・81%)</p>

ユニバーサルデザイン教育(UDL)の一層の充実

- 保護者との相談、サポートネットワークによる専門機関との連携
 - ・「個別的教育支援計画」に基づいた生徒への効果的・専門的支援
 - ・特別支援学級における指導方法の改善と「交流学习」の充実
- 合理的配慮を提供するインクルーシブ教育システムの充実
 - ・通常学級における合理的配慮の提供と支援の推進
 - ・特別な支援を必要とする生徒への対応についての職員研修

社会と連携・協働するカリキュラム・マネジメント

- ESD探究学習(マイプロジェクト)の運営支援
 - ・地域教育コーディネーターによる地域、幼保小学校との連携
 - ・探究学習アドバイザー、PTAとの連携
- 社会に開かれた教育課程の評価・協議・改善の仕組みづくり
 - ・中学校区コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)
 - ・地域と学校パートナーシップ事業推進協議会

新津一中学区らしいICS(コミュニティ・スクール)の推進

学びの連続性を図る一貫教育の推進

- i・プロジェクトの推進(中学校区小中一貫教育)
 - ・目指す資質・能力を身に付けさせるための「家庭学習の習慣づくり」を小学校から中学校へと円滑に移行する体制づくり。
 - ・「キャリア・パスポート」を活用して、目指す資質・能力の育ちを長期的視点でサポートする体制づくり。
 - ・生徒指導(挨拶運動)、特別活動(いじめ見逃しゼロスクール運動、にいつのうた活用)、総合学習(地域教育プログラム策定)、特別支援教育(支援体制・小中交流学习)の小中連携。
 - ・職員研修(授業研究交流、合同研修会)の実施。

地域と学校で生徒を守る体制の構築

- 小中一貫教育推進会議の充実
 - ・生活指導の重点として「ネットトラブル」への対応について小中で一貫した指導をするための体制づくりと指導。
- 学びのセーフティネットの充実
 - ・PTA、青少年健全育成会、学警連、コミュニティ協議会、地域懇談会による見守り体制の推進
- 地域ぐるみの防災減災教育の充実
 - ・防災減災教育、AED研修、防犯教育、避難訓練における地域、小学校、消防署、行政との連携